

6. アバットメント

イントロダクション

カムログインプラントとアバットメントの連結の高精度と安定性により、標準的なクラウン・ブリッジの技工をより容易に行うことができるようになりました。歯科技工士はアバットメントの選択を行い、それを形成します。

アバットメントの種類

カムログシステムには下記のアバットメントが用意されています。

1 エソミックアバットメント

解剖学的形態がカラー部に付与され、ストレートタイプとアングルタイプ(20°)があります。カラー部の高さは1.5mmと4mmです。

2 スタンダードアバットメント

水平マージンのカラー部を持ち、ストレートタイプとアングルタイプ(15°)があります。カラー部の高さは1.5mmと4mmです。

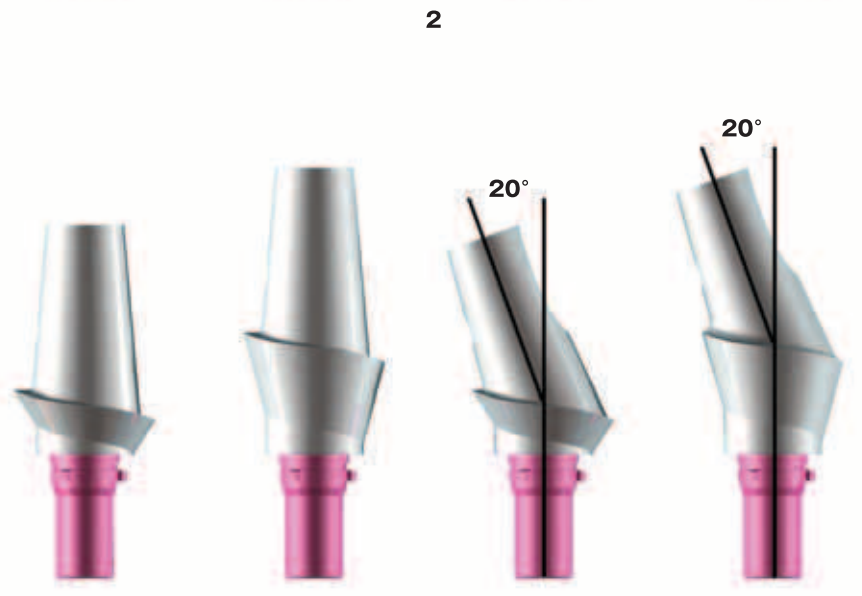
3 ユニバーサル/テレスコープアバットメント

4 インセットアバットメント

カラー部高さは1.5mmで解剖学的形態が付与されています。カラー一部がインプラント体の鏡面部より真っ直ぐ立ち上がるような形状になっています。

5 UCLAアバットメント(鋳接用)

いずれのアバットメントも個々の症例に合わせてカスタマイズして用います。



アバットメント

対象: 歯科医師/歯科技工士

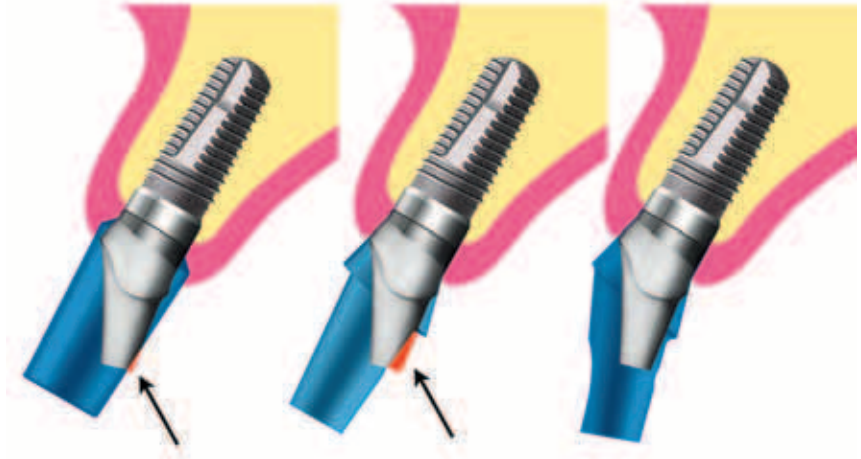
アバットメントの選択

シリコンインデックスを使って適切なアバットメントの選択を行います。アバットメントの選択に必要な情報は下記のとおりです。

インプラントの軸、歯肉高さ、カムの位置(アングルタイプのアバットメント使用時)、咬合面までの咬合高径。

1. インプラントの軸 (1)

約10°以内の軸の傾斜はストレートタイプのアバットメントで対応できます。軸の傾斜がそれより大きい場合は、アングルタイプのアバットメントかUCLAアバットメントを選択します。



1

2. 歯肉高さ (GH) (2)

選択の基準は歯冠部の歯肉もしくは乳頭の最も厚い部位となります。

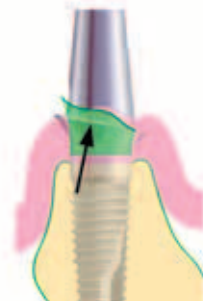
歯肉高さを基準にすることにより唇側の最も低い位置にも適合します。最終補綴クラウンマージンは唇側で1-1.5mm歯肉縁下となり、舌側/口蓋側で歯肉レベルでなければならないため、審美的、衛生的なクラウンマージンが得られるような適切な歯肉高さのアバットメントを選択します (3+4)。



2



3

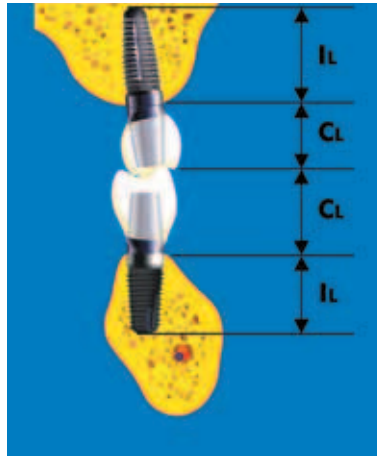


4

3. 咬合面までの咬合高径 (5)

図に示された距離でインプラント (IL) とクラウン (CL) の長さの比を決定します。この図ではクラウンの連結が必要であることを示しています。

理想的な比は CL/IL が 0.8 以下です。



5

4. インセットアバットメント (6) は特にスペースが狭い部位に使用します。このアバットメントの特徴は最大径部がインプラントの径と合致することです。

チタン合金製アバットメント以外に鋳接用のUCLAアバットメントが用意されています。UCLAアバットメントは咬合面スクリュー維持のクラウンにも使用されます。



6

最終アバットメントの選択を容易にするためのカラーコード化された選択用アバットメントアナログ (7) が用意されています。エソミックタイプおよびスタンダードタイプの形状寸法と合致します。マスターモデル上で軸の傾斜と歯肉マージンに合ったアバットメントを選択します。このアバットメントアナログは再使用できません。臨床用のアバットメントと区別できるようにアバットメントアナログはカムが1つしかなく全体が色付けされています。どのような場合でも患者の口腔内に使用しないでください。



7